

目次

第1部 総論 ……1

(1) 「山本巖流漢方」のすすめ ……2

～医学に西洋も東洋もない，病気をよく治す医療が良い医学である～

- ① 山本巖流漢方とは？ ……2
- ② 西洋医学と東洋医学—その長所と短所とは？ ……2
- ③ 現代の日本漢方とは？ ……3
- ④ 中医学とは？ ……3
- ⑤ 山本巖が追究したものとは？ ……5
- ⑥ 西洋医学と東洋医学の融合へ ……6

(2) 個々の生薬は単語であり， 基本方剤は短文であると認識せよ！ ……8

(3) 生薬の基礎を知っておこう！ ……10

～「薬能」，「薬性」，「五味」，「帰経」とは？～

第2部 漢方の基本病態と基本方剤 ……13

(1) 「ききょ気虚」と「しゅんしとう四君子湯」 ……14

- 「気虚」とはどのような病態なのか？ ……15
- 「気虚」の病態を改善する補気剤とは？ ……16
- 「四君子湯」とはどのような方剤なのか？ ……17
- 「四君子湯」を処方するポイントは？ ……17

生薬を学ぼう！

にんじん人参…18 ぶくりょう茯苓…20 びやくじゆつ白朮…20 かんぞう甘草…22 たいそう大棗…24 しょうきよう生姜…25

気虚の代表方剤①六君子湯^{りつくんしとう}……26

生薬を学ぼう！

ちんぴ はんげ
陳皮…27 半夏…28

気虚の代表方剤②補中益気湯^{ほちゅうえつきとう}……31

生薬を学ぼう！

おうぎ しょうま
黄耆…32 升麻…34

症例 ……3年間続く不正性器出血…35

きたい しぎやくさん きうつ はんげ こうぼくとう
(2)「気滞」と「四逆散」／「気鬱」と「半夏厚朴湯」……36

「気滞」とはどのような病態なのか？……37

「気滞」を改善する理気剤とは？……38

「四逆散」とはどのような方剤なのか？……38

「四逆散」を処方するポイントは？……39

「四逆散」はどのような疾患に効くのか？……39

「半夏厚朴湯」とはどのような方剤なのか？……39

「半夏厚朴湯」はどのような病態・疾患に効くのか？……40

生薬を学ぼう！

さいこ きじつ しゃくやく こうぼく そよう
柴胡…41 枳実…42 芍薬…44 厚朴…45 蘇葉…46

理気薬には他にどんなものがある？……47

向精神作用のある生薬にはどんなものがある？……47

「四逆散」の構成要素＝「枳実+芍薬」……48

「枳実+芍薬」が配合される理気剤／大柴胡湯……48

「四逆散」の構成要素＝「柴胡+芍薬+甘草」……50

「柴胡+芍薬+甘草」が配合される理気剤／加味逍遥散^{かみしょうようさん}……50

「四逆散」の構成要素＝「芍薬+甘草」……53

「芍薬+甘草」が配合される理気剤／桂枝加芍薬湯^{けいし かしゃくやくとう}……53

症例① ……過敏性腸症候群の下痢型とガス型……56

症例② ……診断名「大うつ病」……57

けつきよ しもつとう
(3) 「血虚」と「四物湯」……59

「血虚」とはどのような病態なのか？……60

「四物湯」とはどのような方剤なのか？……62

「四物湯」を処方するポイントは？……62

「四物湯」はどのような疾患に応用されるのか……63

「四物湯」に代わる西洋薬はないのか？……63

生薬を学ぼう！

とうき せんきゅう しゃくやく せきしゃく かんじ おう じゅくじ おう
当归…64 **川芎**…65 **芍薬**…66 **赤芍**…67 **乾地黄**…68 **熟地黄**…69

「四物湯」配合の加減方……71

症例 ……月経前症候群(PMS)のイライラ型……75

おけつ けいし ぶくりようがん
(4) 「瘀血」と「桂枝茯苓丸」……77

「瘀血」とはどのような病態なのか？……78

なぜ「瘀血」になる？……78

「瘀血」の主要症状—その病態の推論……79

駆瘀血剤に代わる西洋薬はないのか？……80

「桂枝茯苓丸」とはどのような方剤なのか？……81

「桂枝茯苓丸」はどのような病態・疾患に効くのか？……81

生薬を学ぼう！

とうにん ぼたんび
桃仁…82 **牡丹皮**…83

駆瘀血薬は他にどんなものがある？…85

瘀血の代表方剤①

寒証タイプに適応する駆瘀血剤／^{きゅうきちようけついでいいら かげん}芎歸調血飲第一加減……86

瘀血の代表方剤②

熱証タイプに適応する駆瘀血剤／^{つうどうさん}通導散……88

生薬を学ぼう！

だいおう
大黃…90

駆瘀血剤は他にどんなものがある？……92

症例 ……12年前からの潰瘍性大腸炎……94

すいしつ しらいさん
(5)「水湿」と「四苓散」……95

- 「水湿」とはどのような病態なのか？……96
「水湿」による症状の特徴は？……96
「水湿」に関連する疾患にはどんなものがある？……98
漢方の利尿剤は西洋薬の利尿剤とどこが違う？……98
「四苓散」とはどのような方剤なのか？……98
「五苓散」とはどのような方剤なのか？……99
「五苓散」とはどのような病態・疾患に効くのか？……100

生薬を学ぼう！

たくしや ちよれい
沢瀉…101 **猪苓**…102

利尿薬は他にどんなものがある？…102

「四苓散」の構成要素＝「白朮+茯苓」……104

「白朮+茯苓」が配合される利尿剤①／とう きしやくやくさん当帰芍薬散……105

「白朮+茯苓」が配合される利尿剤②／りやうけいじつかんとう苓桂朮甘湯……106

「白朮+茯苓」が配合される利尿剤③／りやうきやうじゆつかんとう苓姜朮甘湯……107

「白朮+茯苓」が配合される利尿剤④／しん ぶとう真武湯……108

「四苓散」の構成要素＝「猪苓+沢瀉」……110

「猪苓+沢瀉」が配合される湿熱の代表方剤／ちよれいとう猪苓湯……110

「水湿」の三つの病態＝かんしつ「寒湿」「しつねつ湿熱」「ふうしつ風湿」……112

「下痢」には「四苓散」の薬物を加味することが多い……113

症例 ……10年来の拒食症による腹水・胸水……115

りかん にんじんとう
(6)「裏寒」と「人參湯」……116

「寒証」とはどのような病態なのか？……117

なぜ「寒証」を発症する？……117

「寒証」の特徴は？……118

「寒証」は二つに分類される！……118

西洋医学の治療上の盲点を補う去寒剤とは？……119

「人参湯」とはどのような方剤なのか？……120

「人参湯」はどのような病態・疾患に効くのか？……121

生薬を学ぼう！

かんきょう
乾姜…122

「人参湯」の構成要素＝「乾姜+甘草」……123

「乾姜+甘草」が配合される去寒剤／しょうせいりゅうとう小青竜湯……124

「経絡の中寒」の代表方剤

身体外表部の冷えに適応する去寒剤／ごしやくさん五積散……127

生薬を学ぼう！

けいし桂枝…129 まおう麻黄…131

去寒薬は他にどんなものがある？…132

症例 ……しもやけ(自験例)……134

じつねつ (7)「実熱」と「おうれんげどくとう黄連解毒湯」……135

「熱証」とはどのような病態なのか？……136

熱証には「実熱」と「虚熱」とがある！……136

難治性疾患の多くの病態に慢性炎症がある！……137

漢方の清熱剤は西洋薬の抗炎症剤とどこが違う？……137

「黄連解毒湯」とはどのような方剤なのか？……138

「黄連解毒湯」はどのような病態・疾患に効くのか？……138

「黄連解毒湯」を処方するポイントは？……139

生薬を学ぼう！

おうれん黄連…139 おうごん黄芩…141 おうぼく黄柏…142 さんしし山梔子…143

清熱薬には他にどんなものがある？…145

「黄連解毒湯」の構成要素＝「黄連+黄芩」……146

「黄連+黄芩」が配合される清熱剤／はんげしゃんとう半夏瀉心湯……147

「黄連解毒湯」に並ぶ実熱の代表方剤

「知母+石膏」が配合される清熱剤／びやくこかにんじんとう白虎加人参湯……148

「熱証」に対する漢方治療のまとめ……149

一貫堂医学「げどくしやう解毒証体質」と「ぞうどくしやう臟毒証体質」……153

「一貫堂医学」とは？……153

「解毒証体質」とは？……153

「解毒証体質」に適應する方剤は？……154

「臟毒証体質」とは？……156

「臟毒証体質」に適應する方剤は？……156

「防風通聖散」とはどのような方剤なのか？……156

「防風通聖散」はどのような病態・疾患に効くのか？……157

「防風通聖散」を処方するポイントは？……158

症例 ……神経パーチエット……158

◆ここが重要！ 実臨床に役立つ山本巖の「虚実論」……160

本文挿入コラム一覧

- 「証」が決定しても処方決めまらない！……4
- 漢方薬の副作用—柴胡剤と間質性肺炎の真実……11
- ここに注目！「気虚の人＝痩せ型」ではない……16
- 人参はこんなときには不適応！……19
- ここに注目！ 利水薬の茯苓・白朮は過剰な水だけを取る……20
- 白朮と蒼朮そうじゆつの違いを知っておこう！……21
- ここに注目！ 甘草の副作用について……23
- 半夏はこんなときには不適応！……29
- ここに注目！ 漢方処方における組合せの妙……29
- ここに注目！ 黄耆と人参の共通点と相違点は？……33
- ここに注目！ 柴胡・枳実は相反する作用を兼ね備える！……43
- ここに注目！ 「虚弱体質」の病態鑑別～四君子湯類しくんしとうるいと桂枝加芍薬湯類けいし かしゃくやくとうるい……54
- 「芍薬甘草湯しゃくやくかんぞうとう」の使い方……55
- 出血過多に川芎は要注意！……66
- 当归・川芎を試飲してみた！（山本巖）……66

- ここがポイント！ 当帰・川芎・芍薬の組合せ……67
- ここに注目！「地黄は胃に悪い？」……70
- 六味丸には乾地黄，八味丸には熟地黄が理に合う……70
- 「陽虚ようきょと陰虚いんきょ」～気は陽に属し，血は陰に属す～……74
- ここに注意！ 日本漢方の「陽虚」と「陰虚」は意味が違う……75
- 桃仁はこんなときには不適応！……83
- 牡丹皮ぼたんぴと赤芍せきしやくの違いは？……84
- 牡丹皮ぼたんぴと桂枝けいしの違いは？……84
- 「通導散」の駆瘀血作用は強力だ！（山本巖）……89
- 中医学の「痰飲たんいん」，日本漢方の「水毒すいどく」……97
- 水逆の嘔吐とは？……100
- 「苓桂朮甘湯」はこんなときには不適応！……107
- 下痢せしやは「泄瀉りしつ」と「痢疾」とに分ける！……114
- ここが重要！『傷寒論』の条文が示すのは急性熱病……121
- 足元を冷やし続ける実験をしてみた！（山本巖）……121
- 乾姜と生姜の効能の違い……122
- 「小青竜湯」と「麻黄附子細辛湯まおうぶしさいしんとう」とはどこが違う？……126
- 「小青竜湯」と「人参湯」とはどこが違う？……126
- 「小青竜湯」と「真武湯」とはどこが違う？……126
- 「小青竜湯」と「苓甘姜味辛夏仁湯りょうかんきょうみしんげにんとう」とはどこが違う？……126
- ここに注意！ 五積散の陣痛促進効果……128
- 桂皮を試飲してみた！（山本巖）……130
- 「桂枝がのぼせを下げる」という勘違いに注意……131
- 麻黄の使用はここに注意！……132
- 「人参湯が効く下痢」と「真武湯が効く下痢」……133
- ここに注意！「黄連」の使用量……140
- 黄連の薬効はベルベリンと無関係では？（山本巖）……144
- 「出血治療」と漢方方剤……152
- 「こころ」の病態鑑別と漢方方剤……152